

# 感染症についてのお知らせ



墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階  
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和5年  
3月号

## 東京都内の感染症流行情報

第7週(2月13日～2月19日)では、インフルエンザの保健所別の患者報告数が31保健所中13保健所で注意報レベル( )である「定点当たり10人」を超え、注意報レベルを超えた保健所管内人口の合計は、東京都全体の47.30%となり注意報レベルが継続しています

第7週は、墨田区でも定点当たり10.63人となり注意報レベルを超えています。

( ) 流行注意報基準：感染症発生動向調査による定点報告において、10人/定点(週)を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合としています。



## 3月1日～3月7日は子ども予防接種週間です

ワクチンで防ぐことができる病気(VPD: Vaccine Preventable Diseases)から子どもたちを守りましょう。



4月から新しい生活が始まるお子さんもいらっしゃると思います。これまでと違う「新しい集団生活」が始まる時は、さまざまな病気の感染を受けることも増えてきます。必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。この期間中、協力医療機関では通常の診療時間外でも予防接種が受けられる場合があります。この機会に予防接種を受けましょう。



### 墨田区の定期予防接種

ヒブ(Hib) 小児用肺炎球菌 B型肝炎 ロタウイルス 4種混合(DPT-PV:ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ) BCG MR(麻しん・風しん混合) 水痘(みずぼうそう) 日本脳炎 子宮頸がん(HPV)

予防接種や乳幼児健診は、お子さまの健やかな成長のために一番必要な時期に受けていただくよう、お知らせしています。特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ重い感染症になる危険性が高まります。遅らせずに、予定どおり受けましょう。

『子どもの予防接種標準スケジュール』については、区のホームページをご覧ください。



### 『HPV(子宮頸がん予防)ワクチン定期接種』について

HPV(子宮頸がん予防)ワクチン定期接種の対象期間は、小学6年生から高校1年生相当年齢(12歳になる年度から16歳になる年度)までが対象期間となっています。2013年6月14日の厚生労働省通知により、HPV(子宮頸がん予防)ワクチンの積極的な勧奨を差し控えていましたが、積極的勧奨が2022年度から再開されました。

#### < キャッチアップ接種について >

2022年度より、積極的な勧奨の差し控えにより接種の機会を逃してしまった対象者の方へ改めて未接種分の予防接種予診票を送付し、定期接種の機会を提供する制度です。対象となる、高校2年相当年齢から平成9年4月2日までに出生した女性の方へは予防接種予診票等を発送しています。2023年度から2024年度にかけては、各年度中に新たに高校2年生相当の年齢になる対象の方へ、4月下旬頃に未接種分の予防接種予診票の発送を予定しています。

#### < 9価ワクチンについて >

2023年4月1日より、9価ワクチンが定期予防接種の対象となります。

『HPV(子宮頸がん予防)ワクチン定期接種』について詳しくは墨田区ホームページをご覧ください。



## 『かんたん＆べんり予防接種ナビ』をご活用ください

『かんたん＆べんり予防接種ナビ』は墨田区の予防接種情報を提供するサービスです。お子さんに合わせた予防接種スケジュールを自動で作成し、接種日が近づくとメールでお知らせします。登録は無料ですので、区民の皆様はぜひご活用ください。

詳しくは墨田区ホームページをご覧ください。



### 注意事項

実際の接種にあたっては、当日のお子さんの体調などを考慮していただき、接種医の判断で接種してください。

『かんたん＆べんり 予防接種ナビ』は、母子健康手帳（親子健康手帳）の代わりにはなりません。

あくまでも予防接種のスケジュールを管理するサービスです。

接種の際は、必ず母子健康手帳（親子健康手帳）を持参の上、接種記録を残すようにしてください。

## 子どものMR（麻しん・風しん混合）の定期予防接種について

麻しん（はしか）は感染力が強く、かかると重篤な肺炎や脳炎を引き起こすこともあります。また、風しんは平成30年の夏以降、公的予防接種の機会がなかった世代の方を中心に発生が確認されています。それぞれ予防には予防接種が有効です。

### MR（麻しん・風しん混合）ワクチン定期接種の対象者

【1期】12か月（1歳）～24か月（2歳）に達する前日まで

【2期】5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間（年長児の4月1日～翌年3月31日まで）



### ～小学校の入学前に接種がすすんでいるかどうかを確認しましょう。～

免疫を長期に持続させるためには、1歳児の1回目接種に加え、2回目の接種（MR2期）が重要です。2016年4月2日～2017年4月1日生まれのお子さまは、2022年度に第2期の定期接種を受けます。第2期でまだ麻しんと風しんの予防接種をそれぞれ2回ずつ受けていないお子さまはかかりつけ医とよく相談し、ぜひ**2023年3月31日まで**に受けましょう。2023年1月時点で2期の接種がお済みでないお子さんには、1月下旬に案内はがきを送付しました。

### <子どものMR（麻しん風しん混合）の任意予防接種を公費負担しています>

墨田区では、18歳（高校3年生）以下の方で、MR（麻しん・風しん混合）または「麻しん」または「風しん」の予防接種を定期接種期間中に受ける事ができなかった方（麻しん・風しんの両方を罹患した者は除く）

### 大人の風しん抗体検査と予防接種について

風しんは、風しんウイルスによる感染症で、ウイルス感染後2週間から3週間の潜伏期間の後に発熱・発疹・リンパ節の腫れを主な症状とするウイルス性発疹症です。妊娠中の女性が風しんに感染すると胎児に感染し、白内障や難聴、先天性心疾患を特徴とする先天性風しん症候群（CRS）を発症する可能性があります。

#### 30～50代の男性対象

平成30年7月以降、関東地方を中心に風しん患者数が増加し、その患者の中心は30代から50代の男性となっています。これまで風しんの公的な予防接種を受ける機会がなかった昭和37年（1962年）4月2日から昭和54年（1979年）4月1日までの間に生まれた男性を対象に風しんの抗体が十分でない方へ公的な予防接種を1回受ける機会を設けることになりました。

詳しくはこちら



#### 妊娠を希望している女性とその同居者対象

区では先天性風しん症候群（CRS）の予防のため、妊娠を予定または希望している女性とその同居者（妊婦の同居者）を対象に、風しんの抗体検査と予防接種（風しん抗体価が低い場合のみ）の費用助成を行っています。

詳しくはこちら



このお知らせは、東京都感染症情報センター（<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/weekly/>）の情報をもとに作成しています。